

体育科学習指導案

学習者 附属小学校 3年1組 33名
指導者 甲斐 義一

単元名 器械運動 跳び箱運動 「お家の人に、跳び箱のポイントを伝えよう」

1. 単元の目標

- (1) 跳び箱運動の楽しさを感じ、その行い方を理解するとともに、自己の能力に適した技を安定して行ったり、友達と合わせて行ったりできるようにする。 【知識及び技能】
- (2) 自己の能力に適した課題を見付けその解決の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力】
- (3) 運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動したり、場や器械・器具の安全に気をつけたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】

2. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
①跳び箱運動の行い方について、言ったり書いたりしている。 ②次の3つの技のうち、2つを安定して行うことができる。 ・助走から両足で踏み切り、足を左右に開いて着手し、跳び越えて着地することができる。 ・助走から両足で踏み切り、腰の位置を高く保って着手し、前方に回転して着地することができる。 ・助走から両足で踏み切って着手し、足を抱え込んで跳び越しをすることができる。	①ICT 機器の使用により動きのポイントと自己の動きを照らし合わせ、自己の課題を見付けている。 ②自己やグループの課題を解決するために、複数の場の中から自己の課題に適した練習の場を選んでいる。 ③課題の解決のために、観察して見つけたこつやわかったことを友だちに伝えている。	①跳び箱運動の基本的な技や発展技に積極的に取り組もうとしている。 ②互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合おうとしている。 ③場や器械・器具の安全に気をつけながら運動している。

3. 指導と評価の計画（7時間）

（1）単元指導計画と評価計画

時間	1	2（本時）	3	4	5	6	7
ねらい	学習の進め方の見通しをもつ。	台上前転に挑戦する。		かかえ込み跳びに挑戦する。		自己の課題に応じた場を選び、練習する。	跳び箱撮影会
学習活動	1. 本時の学習内容と1時間の流れの確認 2. 準備運動・補助運動 3. 既習の基本的な技を行う 5. 振り返り・片付け	1. 準備運動・補助運動 2. めあての確認 3. 活動Ⅰ（練習） 4. 活動Ⅱ（ウォッチングタイム） 5. 振り返り・片付け	1. 準備運動・補助運動 2. めあての確認 3. 活動（課題に応じた練習） 4. 振り返り・片付け	1. 準備運動・補助運動 2. めあての確認 3. 活動（撮影会） 4. 振り返り・片付け			
評価の重点	知・技		① 観察・ICT 学習カード		② 観察・ICT 学習カード		
	思・判・表		① 観察・ICT 学習カード		③ 観察 学習カード	② 観察 学習カード	
	主体	①③ 観察 学習カード					② 観察 学習カード

(2) 指導と評価の計画

時	ねらい (◆) と主な学習活動 (○)	評価規準 (評価方法)		
		知・技	思・判・表	主体
1	◆ 跳び箱の学習の進め方について、準備運動や補助運動を行ったり既習の技を行ったりすることを通して、学習に見通しをもち進んで取り組もうとすることができるようにする。			
	○ オリエンテーション (本時の学習内容と1時間の流れの確認) ○ 準備運動・補助運動と基本的な技 ○ 振り返り (視点: お家の人にどんな技を見せたいか) 【想定される児童の姿】 ・ 学習の進め方が分かった。 ・ ○○な動画にするため、○○に頑張りたい。			・ ①③ 〈観察・ICT・学習カード〉
2 本 時	◆ 台上前転の跳び方について、ICT 機器を用いて開脚跳びの跳び方と比較することでポイントを見つけたり自分や友達の跳び方を確認しながら練習したりすることを通して、自己の課題を見つけることができるようにする。			
	○ 準備運動・補助運動 ○ 活動・ウォッチングタイム ○ 振り返り (視点: 自己の課題・できたポイント) 【想定される児童の姿】 ・ 手のつき方や目線の違いがわかった。 ・ ○○ができないので、できるようになりたい。		・ ① 〈観察・ICT・学習カード〉	
3	◆ 台上前転について、ICT 機器を用いて見つけたポイントを確認したり自分や友達の跳び方を確認したりしながら練習することを通して、ポイントを意識しながら跳ぶことができるようにする。			
	○ 準備運動・補助運動 ○ 活動・ウォッチングタイム ○ 振り返り (視点: 自分や友達の到達) ICT 【想定される児童の姿】 ・ ○○を意識すると、できるようになった。 ・ ○○さんが、○○をできるようになっていた。	・ ① 〈観察・ICT 学習カード〉		
4	◆ かかえ込み跳びの跳び方について、ICT 機器を用いて開脚跳びの跳び方と比較することでポイントを見つけたり自分や友達の跳び方を確認しながら練習したりすることを通して、自己の課題を見つけることができるようにする。			
	○ 準備運動・補助運動		○③	

	<p>○活動・ウォッチングタイム ○振り返り（視点：自己の課題・できたポイント）</p> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・踏切や手のつく位置，腰の上げ方がわかった。 ・○○ができないので，できるようになりたい。 		<p><観察・ICT・ 学習カード></p>	
5	<p>◆かかえこみ跳びについて，ICT 機器を用いて見つけたポイントを確認したり自分や友達の跳び方を確認したりしながら練習することを通して，ポイントを意識しながら跳ぶことができるようになる。</p>			
	<p>○準備運動・補助運動 ○活動・ウォッチングタイム ○振り返り（視点：自分や友達の上達）</p> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○を意識すると，できるようになった。 ・○○さんが，○○をできるようになっていた。 	<p>○② <観察・ICT・ 学習カード></p>		
6	<p>◆自分の課題を解決するために，課題に応じた練習の場を選んで練習することができるようにする。</p>			
	<p>○準備運動・補助運動 ○活動・ウォッチングタイム ○振り返り（視点：撮影に向けて）</p> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・撮影では，お家の人に褒めてもらえるように，ポイントをおさえてやりたい。 		<p>○② <観察・ICT・ 学習カード></p>	
7	<p>◆跳び箱運動について，これまでの学習で見つけたポイントを確認しながら自分で技に挑戦したり友達の技を撮影したりすることを通して，ルール守り友達と助け合って行おうとすることができるようにする。</p>			
	<p>○準備運動・補助運動 ○撮影会 ○単元のまとめ（視点：単元を通して学んだこと）</p> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知ったポイントや掴んだコツを生かし，4年生ではさらに難しい技に挑戦したい。 			<p>○② <観察・ICT・ 学習カード></p>

4. 本時の指導（2/7）

本時のねらい	台上前転の跳び方について、大型テレビで開脚跳びの跳び方と比較することでポイントを見つけたり iPad で自分の跳び方を確認しながら練習したりすることを通して、自己の課題を見付けることができるようにする。
評価規準	台上前転の跳び方について、ポイントを見つけたり練習したりして、自己の課題を見つけている。
具体的な児童の姿	ロイロノートで自分の台上前転の動画を見ながら、できているポイントやできていないポイントにマーキングをしている。

時間	児童の動き	指導○及び留意点・◎評価〈方法〉※支援を要する児童への手立て	準備物
8分	1. 準備運動・補助運動をする。	○準備運動・補助運動を行うようにする。 ・あいさつ，準備運動，補助運動の順で行う。 ・補助運動は台上前転の動きにつながるように，ゆりかご，前転，うさぎ跳び，支持で跳び乗り・跳び下りを一連の流れで行う。	ビブス
10分	2. 本時のめあてを確認する。 【想定される児童の姿】 ・手をつく位置が近い ・跳び箱箱を掴むように持っている ・視線が自分のおへその方を向いている ・体を丸めている ・腰が高く上がっている	○既習の跳び方との比較から，本時のめあてを位置付ける。 ・TV を用いて前時に学習した開脚跳びのポイント（「手を遠くに着く」「視線はまっすぐ前」「腰を高く上げる」）を振り返り実際に跳ぶことで，既習の跳び方を想起することができるようにする。 ・新たに挑戦する台上前転の試技を見せた後，「開脚跳びとの違いは何か？」と問い，開脚跳びと台上前転の比較動画を見せることで，2つの跳び方の違いをもとにポイント（「手を近くに着く」「視線はおへそ」「腰をさらに高く上げる」）に気づくことができるようにする。 ※違いに気付きにくい場合はスローで比較するなどして，全員が確認することができるようにする。 ※気付いたポイントについて理由も含めて考えることで，ポイントを動きのイメージへと繋げることができるようにする。 ※気付いた違いを画面上に残し，確認することができるようにする	TV・タブレット・師範の動画
10分	3. ポイントを意識して台上前転を跳ぶ。	○見つけたポイントを確認しながら台上前転を跳ぶようにする。 ・技能に応じて場を選んで跳ぶようにする。 ※なかなか挑戦できない児童に対しては，適宜補助や声かけを	

めあて
 台上前転のポイントを見つけよう

10分	4. ペアで動画を撮影し、自分たちの動きを確認する。	<p>行う。</p> <p>○iPad で自分たちの動きを撮影しながら互いに確認し、見つけたポイントから自己の課題を見つけることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・撮影の位置を確認し、適切なアングルで技を撮影することができるようにする。 <p>◎台上前転の跳び方について、ポイントを見つけたり練習したりして、自己の課題を見付けている。〈観察・学習カード〉</p>	タブレット
7分	5. 学習の振り返りを行い、次時へつなげる。	<p>○ロイロノートで自分の技の動画を整理し、見つけたポイントから自己の課題について振り返ることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の技の動画に、できているポイントを赤で、できていないポイントを青でマーキングすることで、自己の課題を明確化し、次の学習へと繋げることができるようにする。 ・自己の課題についてみんなと共有することで、次時の学習での見合い教え合いの視点にすることができるようにする。 	

台上前転 練習の場

跳び箱にマツトの場



ソフト跳び箱 大



ソフト跳び箱 小



ソフト跳び箱とソフトマツト



ステージ



跳び箱 大 6段



跳び箱 小 5段



跳び箱 小 4段

ソフトマツトの上にマツト



ソフト跳び箱とソフトマツト



入り口

大型テレビ